学校だより
清流（せいりゅう）
No. 6
令和８年９月３０日発行

今金町立今金中学校　学校教育目標
自学　自立　共生

令和８年度　重点教育目標
『自ら考える力の育成』～自立と貢献、自律と挑戦～

「挑戦の先には、新たな自分がいる～まずはやってみる～」

校長　村　田　真　一



本校生徒が全国最優秀賞受賞！
詳細は裏面をご覧ください

朝夕の風に心地よい秋の気配が感じられる季節となりました。生徒たちは学習や部活動、そして間近に控えた文化祭に向けて、一日一日を大切に力強く歩みを進めています。

この実りの秋に、本校にとって大変うれしいニュースがありました。2年生の松本悠さんが、「第32回馬の絵作品展」において見事「文部科学大臣賞」を受賞したのです。これは全国の頂点、いわば「日本一」に輝く快挙です。もちろんこの結果も文句なしに素晴らしいものですが、何より胸を打たれたのは、松本さんが「自ら挑戦した」というその姿勢です。清水先生から紹介されたきっかけを逃さず、「やってみよう」と自らの意思で応募を決めた――その主体的な一歩があったからこそ、この素晴らしい成果と成長につながりました。

私事になりますが、私も9月5日に開催された「ピリカふれあいマラソン」に参加し、10 kmコースに挑戦してきました。実は、これまでの人生で「10 km」という距離を走りきった経験は一度もありませんでした。「最後まで走りきれるだろうか」「途中で足が止まってしまうのではないか」――エントリーした当初は、そんな不安や迷いが何度も頭をよぎりました。

しかし、本校の今年度の重点目標は「自ら」「挑戦」です。生徒たちに「挑戦しよう」と語りかける立場として、まずは自分自身が未知の世界に飛び込み、「まずはやってみる」という姿を行動で示したいと考えました。そこから一念発起し、1ヶ月で100 kmの走り込みを重ねて、スタートラインに立ちました。

走っている途中で、息が上がり足が重くなる苦しい場面もありましたが、運営の方々の温かい声援に背中を押され、一歩一歩前へと足を運び、無事に完走することができました。ゴールテープを切った瞬間に胸に込み上げてきたのは、深い達成感とともに、「未経験だからとあきらめず、思い切ってやってみて本当によかった！」という確かな実感でした。

松本さんのコンテストへの挑戦も、私のマラソンも根底にあるものは同じです。何かにチャレンジするとき、誰しも不安を感じます。しかし、最初からできるとわかっていることだけを選んでいては、新しい景色を見ることはできません。未知のことでも「まずはやってみる」。そして地道に努力を重ねる。その最初の一歩を踏み出した先には、挑戦する前には想像もできなかった「成長した自分」が待っています。

生徒たちには、自分の可能性を自分で決めつけず、どんな小さなことでも「自ら」「挑戦」する勇気を持ってほしいと願っています。これからも失敗を恐れず一歩を踏み出す生徒たちを、私たち教職員も全力で支え、応援してまいります。

祝！入賞

十勝管内の鹿追町にある、神田日勝記念美術館主催で「第３２回馬の絵作品展」が開催されました。この作品展で、全国からの応募総数　３１５点の中から、本校２年生の松本悠さんの作品が、全国最優秀賞である「文部科学大臣賞」に選ばれました！詳細は以下のQRコードよりご参照ください。



生徒会

令和８年度後期からの新「生徒会執行部」がスタートしました。【敬称略】

会　長	佐々木	陽斗
副会長	瀧澤	柚月
	松本	悠
書　記	坂上	志穂理
	髙橋	心花
会　計	加藤	陽向



ビジネスマナー

２年生の活動で予定されている「職場体験」に向けて、今金町役場総務財政課より伊藤翔様をお招きして「ビジネスマナー講座」を開催しました。敬語の使い方と表現について、生徒の皆さんは「承知しました」といった難しい表現も使うことができ、講師の伊藤様からも高く評価していただきました。



ボランティア

９月２５日(金)に全校ボランティア活動として「校区内清掃」を行いました。昨年度の反省を受けて、暑さ対策やごみの量など様々な点を考慮して、本年度は９月下旬の実施となりました。生徒たちは、学年混合縦割り班に分かれ、町中のごみを精力的に拾っていました。



体験入学

進路に向けた学習活動の一環として、９月１７日（木）に、檜山北高校を会場として「一日体験入学（オープンスクール）」が行われました。檜山北高校の生徒からの学校紹介に始まり、「－１９６℃の世界」や「ギターに挑戦」といった特色ある体験授業に参加しました。また、部活動見学を自由に行うことができ、地元の高校を知ると同時に、卒業後の進路に向けた意識を高める一日となりました。



今金中学校の学力向上プランについて

今金中学校では、「学力向上」のためのさまざまな手立ての一つとして、英語科で「ティーム・ティーチング」を実施しています。一人の教師では拾い切れない、生徒の状況・発言・つまずきを、複数の教師が把握し、その場で働き掛けて、学力向上につなげていきます。また、数学科で「習熟度別学習」を実施しています。全学年で単元テストや小テストの結果に基づき、一つのクラスを３つの「コース」に分けて学習しています。これにより、基礎・基本を確実に身につけ、つまずきを解消できる学習体制をつくっています。さらに、全国学力・学習状況調査より判明した不得意な問題について、授業内に言語活動（ペアワーク・数学的対話）を取り入れた指導を行い、確かな学力を身に付けるための指導を進めてまいります。